

2022 『ICU ローテーター』 募集のお知らせ

はじめに

短期間で集中治療を専門に勉強・研修したい医師が、当集中治療センター（ICU）で集中治療に関する高度かつ専門的な知識や技能を習得することを目的とします。

一時的に『麻酔科』所属（または状況によっては主科所属のまま）となりますが、手術室における麻酔専従業務は必須ではありません。また、成人術後管理（勤務場所：ICU3）を主な職務内容としますが、院内急変患者にも対応しており、rapid response team/system (RRT/RRS)機能を担うユニットであることから呼吸不全や代謝異常といった内科的疾患の加療も同時に学ぶことができます。更に ICU2 との提携で、小児集中治療へのローテーション勤務も可能です。

募集対象医師の経験年数、専門科は問いません。例えば内科系医師がドレーン留置や気管切開などの外科的処置や管理を、また外科系医師が代謝内分泌疾患に対して病態に基づいた薬剤加療などを行うことにより、各人が医師としてのコンピテンシーを獲得・進化させることが目標です。

制度創設の背景

集中治療の世界的トレンド

近年、高度医療の発展と複雑化に伴い、集中治療関連領域のニーズが高まっています。人口の高齢化は必然的に重症病床の拡大を促し、それに呼応するかたちで国の医療システムは高度急性期医療に重点的に資本を投じる方針となっています。

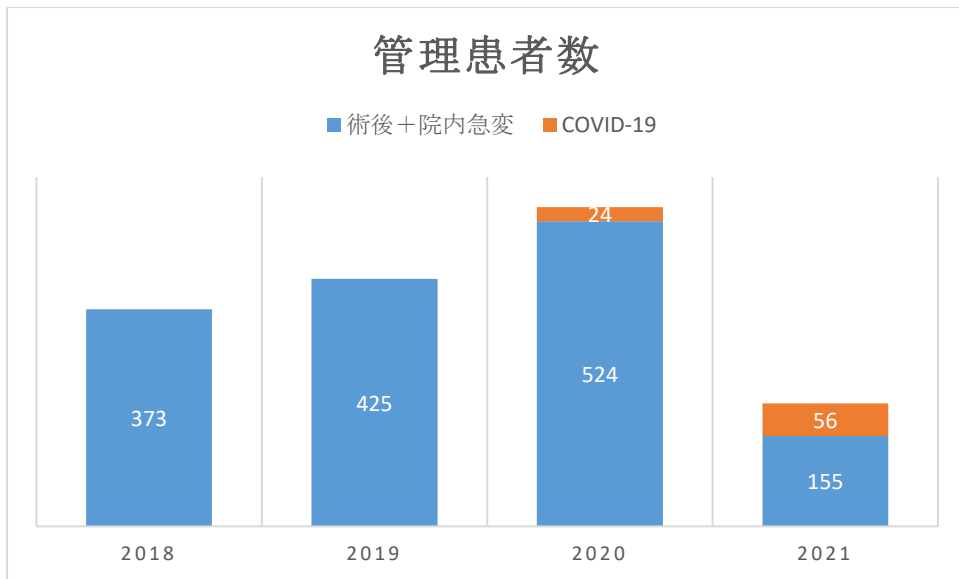
2020年以降、この状況に医療界は否応なしに直面する事態が発生しました。COVID-19のパンデミックです。当院でも各科医師に協力を仰ぎ、ICU勤務をルーチンとしていただきました。その際元来の専門性とは別に集中治療の重要性を体感されたことと思います。2022年にかけて情勢の予測はできませんが、これを機会に病院全体の医療力の底上げのタイミングと捉え、当カリキュラムを提案しました。

▷専門医制度

当院は、本格的な集中治療部門を持つ病院、及び集中治療専門医を育成できる数少ない教育病院として、成長してきました。スタッフ、専門医の数も年々増加してきています。ICUは本来、それを専門とする医師だけでなく、各科専門医が全身管理や他科との連携を学べる場です。今回、当カリキュラムを導入することにより、専門科に固執せず幅広い知識・技量を身につけようとする医師たちにとって、魅力的な職場、修行の場となると思います。

各人の専門医資格を下地に集中治療専門医の資格を取得することも可能です。ICUローテーション後も集中治療に専従し、臨床のみならず、同分野の研究や教育に勤務シフトする人材もちろん歓迎します。

☞ まずは、『百聞は一見に如かず』です。新たな可能性を見つけに、是非見学から試してみましよう。

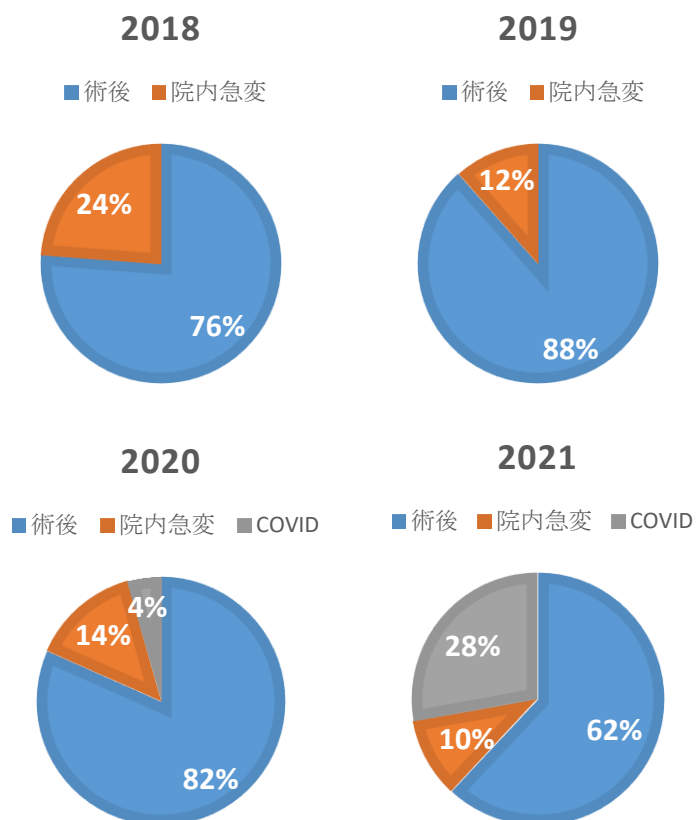


* 2018-2020年5月初旬までは、ICU1での術後+院内急変患者数
(麻酔科ICU部門管理下)

* 2020年5月中旬まではICU1入室患者、以降はICU3入室患者

* 2021年は1月1日から5月31日までの患者数

- 術後患者：院内急変患者 = 70~80%：20~30%
- 2020, 2021年はCOVID-19患者管理に対応



麻酔科 ICU 研修項目 ▷ 集中治療専門医必修項目を引用・改変

I 医療倫理 BLS II 救急蘇生 ALS

III 呼吸 ① 直視下気管挿管 ②人工呼吸器設定 ③ NPPV ④ 胸腔ドレナージ施行
⑤ 気管支内視鏡の施行 ⑥ 経皮的気管切開施行 ⑦ ミニトラック留置

IV 循環 ① CVP/PAP のモニタリングとカテーテル挿入
② 心拍出量モニタリング (PAC, APCO など) ③ ショックの診断と管理
④ 心血管疾患の診断 (ACS, 急性心筋炎, 心筋症, 弁膜症, 不整脈など)
⑤ 薬物療法 (強心・昇圧薬/血管拡張薬、利尿薬、抗凝固薬)
⑥ 心臓ペースメーカーの管理 (経皮/経静脈、適応・合併症・適切な設定)
⑦ 除細動器の使用 ⑧ 開心術術後管理

V 中枢神経系 ① モニタリング (ICP, CPP, INVOS など) ② 髄液検査
③ 脳浮腫の原因となる疾患の診断と治療 ④ けいれんの治療
⑤ 鎮痛鎮静薬の選択 ⑥ 開頭術術後管理

VI 腎 ① AKI の予防と治療 (水・電解質・酸塩基異常・栄養管理, 腎代替療法など)
② CKD 合併患者の管理 (水・電解質・栄養管理, 腎代替療法, 合併症予防など)
③ 腎・尿路系感染症の治療 ④ 腎機能低下時の薬剤 (抗菌薬, 免疫抑制剤など)
⑤ 各種血液浄化療法 (PE,)

VII 肝、胆道系 ① 急性肝不全の診断, 治療 (人工肝代替療法を含めて)

VIII 膵 ① 急性膵炎治療 ② 膵臓手術後管理

IX 消化管、その他腹部 ① イレウス管理 ② 消化器術後管理

X 血液凝固線溶系

XI 代謝・内分泌系の管理 ① DM 管理

XII 感染 ① 敗血症の診断と治療 (SSCG など)

XIII 多臓器障害

XVII 体温異常

XVIII 妊産婦 ① 術後管理 ② 出産前合併症管理

XIX 輸液・輸血・水電解質

XX II 栄養

XXIII 画像診断

XXIV 院内での集中治療医の役割